

令和元年度 第2回 栗東市健康づくり推進協議会 会議録	
日 時	令和2年1月17日（金）14:00～16:00
場 所	栗東市総合福祉保健センター 研修室
委 員	別紙「委員名簿」のとおり
欠 席 者	栗東市商工会事務局 野村委員 栗東市民生委員児童委員協議会連合会 長谷川委員 スポーツ・文化振興課 駒井委員
記録作成者	栗東市健康増進課 川平

## 【議事要旨】

### 1 開会

### 2 あいさつ

- 会長挨拶
- 委員出席状況の報告

### 3 報告事項

#### (1) 歯科保健専門委員会の結果報告

- 栗東市の歯科保健に関する取組みを協議しており、今年度は11月21日に開催。
- 「市民が各ライフステージにおけるセルフケアを意識できるようなリーフレットがあるとよい」という委員の意見から、市民および関係機関が対象への取組みを再確認することを目的に、昨年度リーフレットを作成。今回、内容の再検討や、市民への配布についてのご意見をいただいた。

#### (2) 第3次食育推進計画の策定状況について

- 第3次計画（案）では基本理念を『おいしくたのしく食べて 心も体も健康に！』とし、基本目標は「つづける」、「つながる」、「つくる」の3つの目標に分けている。
- 現在パブリックコメントを実施中で、第3次計画書の案も公開されている。

### 4 協議事項

#### (1) 今年度の取り組み進捗状況と、次年度の取り組みについて

- ◎各所属から報告

#### (2) あなたの健康ささえ隊アンケート実施結果について

- ◎第1回会議でアンケート内容を検討した。その後10月に実施した結果について報告。
- ◎アンケートを実施した事業所や医療機関等へも簡素化して結果報告を行う

#### (3) 健康啓発ポスターおよび野菜たっぷりレシピについて

- ◎ポスターは2種類。レシピは文字の大きさや文言、レイアウトを変更。
- ◎追加の意見は「FAXご意見票」でいただく。

## 5. 連絡事項

- 令和元年度実績・次年度計画表について（3/19ㄨ）
- 「(FAX) ご意見書」の締め切りについて（1/24ㄨ）

## 6. 閉会

- 副会長挨拶

..... 議事の詳細 .....

## 4 協議事項

(1) 今年度の取り組み進捗状況と、次年度の取り組みについて

委員：医師会は、学校医活動、産業医活動、禁煙外来等とうつ病に関する取り組みは計画通りです。健康づくりの啓発に関して、ラジオの放送が終了したので今年度はホームページを通じて行い十分ではなかったところや、歯科との連携で糖尿病と歯周病に関わる部分について、こちらもあまり十分でなかった点が反省点です。

委員：歯科医師会は主なイベントとして、カムカムフェスタの開催や県民フォーラムのハートフル淡海があり、かなり盛況のため来年度も行っています。また、よい歯の老人のコンクール、親と子の良い歯のコンクールも開催しています。「6024」について60歳で24本以上の歯を有する人の数が増えていることは喜ばしく、また、歯科健診を受ける人の割合もかなり増えています。ただし、1歳半に比べて3歳時のう歯罹患率がやや高くなっていること、中学1年生から中学3年生になるにつれてう歯の割合が高くなること、これが課題かなと思っています。

委員：薬剤師会では、出前講座を栗東市・草津市で行っており、医療従事者以外の一般市民の健康意識の高まりを感じるようになりました。ただ、過去3年間で草津市は年7回、8回、14回と徐々に伸びていますが、栗東市が3年間連続3回ずつであり、なぜ差が出るのか、この差をどうしたものかと課題に感じています。もっと出前講座を普及していきたいと思っています。

委員：健康推進員の活動で新規事業として、2月1日に栗東高校の野球部を対象に食育講座と料理の体験講座をします。年代別に食育の大切さは訴えています、これまで幼児や高齢者が対象の活動が多く、働き世代・若者世代に踏み込めないという課題がありましたが、今回若者世代の高校生に向けて栗東高校の協力で実施することになりました。

また、「健康推進員」がまだまだ知られていないということで、媒体としてエプロンシアターで野菜シスターズという歌に振り付けをして、幼稚園や色々なイベントでダンスをしました。野菜を食べようという事を子どもたちにもわかってもらえるよう頑張っています。

委員：大宝西のリフレッシュ健康教室は、大宝西の民生・児童委員が主催で社会福祉協議会も協力しており、高齢者の閉じこもり予防、介護予防などの健康増進を目的に行っています。今年は10年目で

過去一番の 300 名近くが参加しました。「地域の支え合い推進員」も協力して地域での居場所づくりなどの調査を行い、要望のあった地域にアプローチしています。また、老人福祉センターの新規事業「なごやか健康運動教室」で、声を使った全身運動のスポーツボイス、バトンを使ったバトン体操、百歳体操などの映像を見ながらの運動、さらに認知症予防のための「なごやか塾」を開催しています。

委員：保健所では、5月31日の世界禁煙デーに各関係機関と一緒に今年も4駅で2000個のティッシュを配布しました。栗東市も含め、若い世代が多いため働き盛り世代の健康づくりを重点で取り組んでおり、「働き世代の健康づくり支援実態調査」として圏域内の給食施設を持つ事業者65か所に調査を実施しました。受動喫煙防止対策に取り組んでいると全ての事業所が回答しましたが、敷地内禁煙は6か所でしたので今後も勧めていきます。また、各機関で実施されている出前講座については、企業からも申し込みが出来るよう一覧にして案内をしているので、職域からも声が掛かると良いかなと思っています。

改正健康増進法に伴って、商工会の協力を得て会報と一緒に全ての事業所1330か所に周知チラシを配布しました。飲食店に関しては経過措置があるので、該当する内容で現在営業許可を取っている全ての飲食店に郵送で飲食店用の周知チラシをお送りしています。また、これから新規開設される所にも建物内禁煙にするのか、一部喫煙可能な場所にするか、啓発をしております。チラシを持っているので、飲食店がどんな内容になっているか知っていただけたらと思います。

委員：学校教育課はまず食に関して、中学校給食が実施から丸1年を超えてセンターの方の努力もあり、以前よりも美味しくなったという声が多く届いています。次に生活リズムについて、10年間実施していた「ふだんの生活習慣アンケート」が終了し、朝食摂取率などを県の指標に合わせています。他市と比べて栗東市が極めて低いことはないですが、改善に向けた取り組みをしています。これまで生涯学習課と一緒にやっていた「子育てのための12か条」、「ありがとうと言える子育て運動」は、少し見直していく方向です。子ども達の成長を途切れなく一貫したものにするため、各段階ですべきことを共通認識できる表を作成してはどうかと提案があり、仮称「くりちゃんビジョン」、子供たちにこんな姿になってほしいという形を、生活習慣や人との繋がりやスキルの等について0歳から15歳、保健、福祉、教育、すべてをつなぐ皆さんと共通認識を作るため準備をしています。

委員：養護教諭部会です。各校に進捗状況の確認をすると、概ねできているという学校が多かったです。子どもたちは卒業し次の代が入学してくるので、決められた事を丁寧にしていくことが大事だと思っています。色々なことを体で学習したり、知識として学習したりして健康に生活できるようになってほしいと思っています。前年度からがん教育が始まり、今年は学校医に依頼しました。聞きたいこととして「予防の方法」が知りたいと答えた児童多く、前年度5年生の喫煙防止教室の記憶から「がんは何故できるのか」と問うと「タバコ」と書く子どもが多くおり、こういう積み重ねが大事だと感じました。中には、「身近に喫煙者がいて、その煙を吸ってしまうがどうしたらよいか」という質問がり、校医からは喫煙も受動喫煙もダメだと知っているだけではなく、自分が発信

をして家族に禁煙を促してほしいと話がありました。子どもが中心になって家族の健康を進めていく、そして町の健康づくりの推進を担っていく、そのような視点が大事だなというのを今年学ばせていただいた。

委員：生涯学習課です。食に関する講座として、平和学習を小学校区単位で夏休みに実施し、すべての学区ですいとん等の食事体験をしました。また親子クッキングは4つの学区で実施、はつらつ教養大学の「食育栄養講座」は今年2学区で実施しました。参加者のアンケートを見ると非常に高い評価を得ています。

休養・こころの健康分野で児童の放課後の居場所づくりとして「放課後子ども教室」を実施しています。8学区で実施し、子ども登録者が305名、スタッフが102名です。実施できていない、夏休み期間のみ実施の学区については引き続き実施の呼びかけをしていきます。

「子育てのための12か条」ですが、推進会議に参画頂いている団体、保育園、幼稚園、小学校等で啓発をしています。また、1月の広報折込みでもチラシを全戸配布して、市民へ啓発をしております。少年センターの関係ですが、喫煙・受動喫煙の防止、薬物の乱用防止教室を11月から12月にかけて3つの小学校で開催しました。市内の中学校対象のパネル展については、それぞれの中学校で実施しました。

委員：幼児課です。今年度から歯磨き指導を滋賀県歯科衛生士会に依頼し、12月までに全園終了しました。見やすく年齢に合った指導をしていただき、子どもが歯を意識して磨くようになったと聞いています。

委員：長寿福祉課です。運動の分野について、トレーニング機器開放事業をしていますが、機器の老朽化や市内に民間の運動施設があることから、第8期の介護保険事業計画で事業の在り方を見直したいと思っています。こころの健康分野では、高齢者の生きがいづくりと社会参画の推進を目的に、栗東100歳大学やボランティアポイント制度を進めています。今年度は栗東100歳大学の卒業生達が自分達で地域に貢献する活動を創出することを目標にしているが、「何をしたら良いかわからない」と悩んでおられる。栗東市は子どもが多くシニアの方々には子育て支援の担い手になっていただきたいと、2期生を中心に10月から火曜日の午後だけ事業をスタートする事になりました。長寿福祉課で「シニア子育て活動実戦事業」として、子育て団体や子育てを応援したい人のリサーチを行い、結果を100歳大学でお伝えしました。3月2日に「応援したい人」と「応援してほしい人」のマッチング会を予定しているので、シニアの活躍を後押しするような形で事業化を図ります。

また、昨日から「地域集い場づくり担い手養成講座」をスタートしています。NPO法人に委託して全5回の講座ですが、先進地の視察に行くなど主に参加者同士でグループディスカッションをしながら、自分達が集い場を作るにはどうしたら良いか話し合っています。少しずつシニアの方々のスキルやパワーを地域に反映出来たらと思い進めています。

健診の分野では、来年度から薬剤師会の協力を得て、もっと出前講座へ薬剤師会に出て頂こうと、いきいき100歳体操の実践団体や出前トークで希望がある場合に派遣して頂けるよう事業化を考

えています。コミュニティーセンターでも講演会や相談会を企画し、薬局の薬剤師が地域の方にまずは顔を知ってもらおうと思っています。薬局も健康サポート機能を持っているので、市民が気軽に薬局に行き薬剤師が色々な相談に乗っていただけるよう、長い目で事業化をしているところです。

事務局：健康増進課の取り組みとしては、栄養および運動の分野に関して平成30年度から開始している

「骨粗鬆症予防研修会」を、今年度6月、10月にそれぞれ大宝幼稚園、葉山東幼稚園で開催し、約80名の保護者が参加しました。対象は20～40代の女性が中心ですが、「骨粗鬆症を知らない」または「知っていてもどんな病気か知らない」方が多く、子どものうちから骨を強くしておくことが大事であると啓発できました。

今年度新規事業のアル・プラザ栗東店で健康フェアと同日に実施した健康教室については、100名以上の方が健康増進課のブースで説明を聞き、野菜たっぷりレシピの啓発などが行えました。

また、4月からの改正健康増進法の全面施行に向けて、2月の事業所への企業訪問の際に、県が作成した事業所向けの改正法の概要などをまとめたリーフレットを配布予定です。次年度については、第3次食育推進計画の推進にかかる取り組みなど、より一層の健康啓発に努めたいと思っています。

#### ○質疑応答

委員：長寿福祉課のボランティアのポイント制度について、周囲の人があまり知らなくて。自分も偶然知り合いのボランティアから聞いたのですが、ゴミ出しとかですよ？

委員：社会福祉協議会に委託している内容になります。

委員：栗東市内の老人ホームや老人福祉センター、デイサービス等登録している所にボランティアに行くとポイントがたまり、年単位で貯まったポイントに応じて商品券などの還元があり、高齢者の方の社会参加を進めています。また、個人宅のゴミ出し等マッチングをしたうえで実施されたらそちらもポイントが貯まります。

委員：敬老会の集まりなどで周知してもらおうと効率的かもしれませんね。

#### (2) あなたの健康ささえ隊アンケート実施結果について

##### ○資料に沿って説明

##### ○質疑応答

委員：野菜たっぷりレシピを持って帰る割合で、男性はゼロ。男性にもチラシを持って帰ってもらうためにどうすればよいでしょう。

事務局：レシピは女性が興味を持ちやすいですね。以前にレシピではなく運動などの健康情報のみをチラシにしていた時期がありましたが、あまり持って帰っていただけずレシピの掲載をすることになりました。レシピ裏面の「健康情報ワンポイント」では食事以外の情報を掲載しています。チラシの内容については、今後の会議で検討をしていきたいと思っています。

委員：レシピは紙媒体以外でも見られますか？

事務局：栗東市のホームページには過去のレシピを一覧で載せています。

委員：チラシ本体にも、「ホームページに掲載しています」などの文章を載せたらどうですか。

事務局：表面の見出し部分に QR コードを掲載するスペースがあれば入れてみます。

### (3) 健康啓発ポスターおよび野菜たっぷりレシピについて

委員：ポスターのタバコの害の説明文が小さいと思います。良いことが書いてあるので、大きめにしては。

委員：2つに絞るのであれば、お金の話が前面に出ている内容は医療機関などの掲示物としては違和感を感じます。

委員：「卒煙」という言葉はいいと思うので、もっと卒業っぽいイラストにしてはどうでしょう。

委員：吹き出しの中身を卒煙の説明にすると伝わりやすいですね。

事務局：では、レシピは先ほどのご意見から、レシピのバックナンバーの QR コードを掲載する、ポスターは節約に関するものを除き 2 枚に絞り、文字の大きさや内容についてご意見いただいたとおりに事務局で修正させていただきます。

会長：追加のご意見がありましたら、「FAX 意見書」で送っていただくということで。

他、何かご意見、ご質問よろしいですか。そうしましたら事務局へ進行お返ししたいと思います。

委員の皆様の円滑な議事へのご協力頂きありがとうございました。